大阪大学 蛋白質研究所 セミナー

次世代モダリティの社会実装に向けた 蛋白質科学の最前線

「製造を見据えた分子設計」と産学連携

Frontiers of Protein Science Toward the Practical Application of Next-Generation Modalities:
Molecular Design for Manufacturability and Industry-Academia Collaboration

2027 3.19 金 13:00–18:30

会場 AGC YTC研修センター 〒230-0044 横浜市鶴見区弁天町2番地

参加申込

参加登録は、定員120名に達し次第、締め切らせていただきます。

PROGRAM

13:00–13:10 開会挨拶および本セミナーの趣旨説明 高尾 敏文

01 13:10–14:40 アカデミアからの視点 各30分×3名

次世代分子設計と調製技術

01 抗体医薬品の次世代分子設計と物性・機能改変
中木戸 誠 先生（東京大学）

02 次世代モダリティを支える精密修飾タンパク質の設計と合成技術
北條 裕信 先生（大阪大学 蛋白質研究所）

03 バイオ医薬品製造DXに向けたハイブリッドモデリング
杉山 弘和 先生（東京大学）

14:40–15:00 コーヒーブレイク & ネットワーキング

02 15:00–16:30 産業界からの視点：社会実装への壁 各30分×3名

04 ADC医薬品を患者さんに届けるために
～製造の壁を越え、次世代ADCへ～
星野 将人（第一三共 グループ長）

05 バイオ医薬品製造の現状と課題
村田 博（AGCライフサイエンスカンパニー バイスプレジデント）

06 バイオ医薬品の品質とAI活用の規制動向
中野 歩希 先生（PMDA）

03 16:30–17:00 最新バイオ医薬品製造施設紹介

マルチモダリティ新工場 AGC横浜サイトご紹介
高見 潤（AGCライフサイエンスカンパニー バイオロジクス日本事業部長）

04 17:00–17:40 パネルディスカッション

死の谷を越えるために：基礎研究はどこまで「製造」を意識すべきか？
モデレーター：中木戸 誠、高尾 敏文
パネリスト：第1部・第2部の登壇者、宗像 亮介（慶應イノベーション推進本部）

17:40–17:45 閉会挨拶 **17:45–18:30** 情報交換会（懇親会）

主催：大阪大学 蛋白質研究所 **特別協力：AGC株式会社（会場提供協力）**

オーガナイザー：高尾 敏文（大阪大学 蛋白質研究所）、中木戸 誠（東京大学 工学研究科）